

## とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	こどもヶ丘保育園根岸園
活動日時	令和7年2月17日（月）
クラス名（年齢）	きりん・らいおん組（4・5歳児）
年間テーマ	光

### 1.活動テーマ

〈テーマ〉

光で絵を映し出そう

〈テーマの設定理由〉

- ・9月に5歳児クラスがおばけやしきを行なった。
- ・懐中電灯にカラーセロファンをつけて暗い部屋を照らすことを楽しんでいた。
- ・お化けの絵を貼ったが上手く絵が写らなかった為、様々な素材を使って壁に絵を映せる方法を探す。

### 2.活動スケジュール

- ・11名参加
- ・様々な素材に絵を描き、光を照らすことを楽しむ

### 3.環境をデザインする

- ・クリアプラコップ（大）
- ・クリアデザートプラカップ
- ・紙コップ（大）
- ・紙コップ（小）
- ・総菜パック
- ・油性ペン
- ・懐中電灯

### 4. 探求活動の実践

〈活動内容〉

4歳児クラス室内で自分で選んだ素材に自由に絵を描く。完成した子どもから、5歳児クラス室内で懐中電灯を当て遊ぶ。懐中電灯を当てた様子を見て、他の素材を使って絵を描いたり、他の素材と重ねて繰り返し光を当てて遊ぶ。色の付いた光の映り方に違いがある事に気付き、見立て遊びを楽しむ。

〈活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり〉

子どもの言葉・姿	写真
<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれ好きな絵や模様を描き、懐中電灯を使って絵を壁に映し出そうとする。</li> <li>・保育者の様子を見て、違う素材に変えながら何度も繰り返し試す。</li> <li>・5分程で絵を描き終え光を当てて遊ぶことを楽しむ子どももいれば、15分ほどかけてどうなるかを考えながら絵を描く子どももいた。</li> <li>・20分経過後、まだ一度も光を照らしていない子どもがいた為、全員で鑑賞会を開く。</li> <li>・あまり上手く反射していなかった為、廊下の電気も消し園内を真っ暗にした。廊下の電気を消すと、廊下の電気がついていた時よりもはっきり絵が映し出され、「きれい。」と喜んでいた。</li> <li>・黒や青で塗ったプラカップを懐中電灯で照らすと、「ブラックホールみたい。」と見立てて遊ぶ姿が見られた。</li> <li>・全体の活動が終わった後も活動を続けたい子どもは遊びを続けた。</li> <li>・壁と光の距離や角度の変化で光の色の違いに気付き、壁の近くに行き壁と並行に光を当ててみたり、垂直に当てて遊ぶ。</li> <li>・壁に垂直に光を当てると、光が天井に向かって縦に伸びることに気付き、「ひゅー」と言いながら懐中電灯を壁と平行にさせ上に移動させる。その後「バン」と言いながら懐中電灯を壁に垂直に替え花火に見立て「花火大会だよ。」と遊ぶ。その様子を見て「面白そう。」と他児も真似をして遊ぶ。</li> </ul>	  

### 5.振り返り（振り返りによって得た保育者の気づき）

様々な素材を準備したことで、子どもなりに考えながら素材を手に取り遊ぶ姿が見られた。結果を見て素材を変えたり、違う素材と重ねるなど試行錯誤している姿が見られた。

活動終了後も遊びを続けたい子はしばらく続けて遊べる環境を作ったことで、花火大会へと遊びが発展する姿が見られ良かった。カラーセロファンを準備したり、自然光との比較があったりすると、また違った結果や面白い発見があったかもしれないと感じた。